

## 「英語（上級）」ガイダンス

(担当教員：杉浦正利)

### ■シラバスに基づき授業の説明（シラバス参照）

### ■教材『eFACE』の説明

### ■授業の説明

#### 1) 課外学習

- 1) 『eFACE』の説明（毎週、指定されたユニットを学習してくること）  
自宅のPCにインストール  
学習記録のバックアップファイルをUSBメモリーに保存し授業に持参
- 2) 多読教材（毎週、ブックレポートを提出すること）  
教材の場所：中央図書館（NuCTリソースに説明あり）。概要の説明  
Book Report（★提出が平常点に加味される）  
毎週1冊（★100ページを超える場合は2週にわたってもよい）
  - ・単語数をカウント（カウントの仕方を説明）
  - ・単語数を棒グラフにしてフィードバック
  - ・Book Reportに簡単なコメントを書いてフィードバック

#### 2) 対面授業

- 1) 表現クイズ（毎週）  
『eFACE』のReadingとPresentationの表現（★『eFACE』の内容点10点分）

- 2) DictationとShadowing（毎週）

授業中に合わせて30分程度

『eFACE』の各ユニットのShadowingの部分のビデオをもとに、まず、ディクテーションシート（別紙参照）を使って、ディクテーション（約100語）を行う。どこが聞き取れないかを自分で自覚し、リスニングの弱点を強化する。その後、話の展開（論理構造）をふまえた上で、プレゼンテーションに役立つ表現を意識してShadowingを行う。

- 3) Presentation

グループワーク（3週を1単位とし、ランダムにグループを作る）

『eFACE』の既習の三つのユニットから一つリーディング教材を選び、それをもとに口頭発表用原稿とスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。

（最初は、練習を兼ねて全グループともUnit1を取り上げ、説明をしながら進める）

- 1) グループ分けと役割分担
- 2) プレゼンの準備
- 3) プレゼンの練習と発表

- ・各グループ、授業時間外にも、NuCTのフォーラムで打ち合わせをする
- ・プレゼンテーションの評価ポイント（良いプレゼンのコツ）の説明
- ・プレゼンテーションの評価方法
  - ・グループ内
  - ・グループ間
  - ・ビデオ撮影（杉浦評価用）